

○地域包括ケア推進部会の概要

【地域包括ケア推進部会】

<概要>

平成 28 年 10 月に策定された兵庫県地域医療構想では、2025 年までに神戸圏域の在宅医療等の需要が 1.6 万人から 2.6 万人に増加すると見込まれており、在宅医療の充実をはじめとする地域包括ケアの推進が課題となっている。

そのため、「地域包括ケア推進部会」を設置し、地域包括ケアの推進に必要な事項を平成 29 年 3 月より協議している。

地域包括ケア推進部会における検討項目のうち、本市で専門的かつ集中的に取り組むべき課題に対応するため、「介護予防」「医療・介護連携」「在宅療養者の服薬管理」「看取り支援」の 4 つの専門部会を設置し、議論を進めている。

【健康寿命延伸のための「介護予防」専門部会】

<これまでの取り組み>

- ・当専門部会は、これまで計 4 回開催し、「健康寿命の延伸」の実現を目指すため、エビデンスに基づいた介護予防事業の発展や市民への啓発等について検討を行った。
- ・特に、「フレイル予防」という新しい概念を積極的に取り入れ、市民がフレイル予防・改善に取り組めるよう、広報戦略を検討し、広報紙やパンフレットの作成を行った。
- ・要介護リスクとなるフレイルの早期発見のための「フレイルチェック」のあり方、早期改善策として新しく構築した「フレイル改善通所サービス」等の方向性、住民主体の介護予防サロンの効果等について、各委員の専門的見地による具体的な検討を行い、介護予防に関する取り組みの実践に反映してきた。

<今後の方向性>

- ・要介護リスクを減少させるため、データに基づいた介護予防の取り組みが効果的に実践できているかを多角的に分析し、適宜見直しを行いながら、地域の特徴に応じた取り組みを市民にフィードバックしていく。

【医療介護連携に関する専門部会】

<これまでの取り組み>

- ・当専門部会は、これまで計 6 回開催し、医療介護連携に関する現状と課題について検討を行った。平成 30 年度は、入退院時における医療・介護を切れ目なく円滑に提供するため、神戸市版「入退院連携シート」及び「入退院時連携ガイドライン」の作

成検討を行った。各委員の意見を反映のうえ、平成 31 年 4 月頃より、ホームページや各区医療介護サポートセンターで開催する研修会等、様々な機会を活用して周知を行っていく。

<今後の方向性>

- ・在宅療養患者を支える多職種連携のあり方について検討する。
- ・患者・利用者の状態の変化等に応じて、多職種間で速やかな情報共有を行うため、紙ベースに加えて、ICTの活用なども検討していく。

【在宅療養者の服薬管理に関する専門部会】

<これまでの取り組み>

- ・当専門部会は、これまで計 6 回開催し、他職種連携による服薬管理、薬剤の適正使用に向けた薬剤情報管理などについて、「情報共有、一元化」「関係機関連携、服薬支援体制」「患者・家族の理解、市民啓発」の 3 つの論点で議論し、課題に対する解決策の整理を行った。
- ・課題解決策のうち、関係機関の役割と連携のためのフロー図等を整理・共有し、かかりつけ薬局・薬剤師を推進する方策、薬剤情報提供のモデル実施等について検討を進めている。

<今後の方向性>

- ・引き続き、課題解決策について具体的な方法を議論し、とりまとめていく。特に、情報共有ツールや関係機関の連携については ICT の活用についても検討していく。
- ・服薬管理不良状態の早期発見、多職種連携による早期支援を促進するため、服薬支援に関する情報や関係機関の役割・機能、連携方法などをまとめたガイドラインを作成し、関係者に周知を図る。
- ・かかりつけ薬局・薬剤師の推進、残薬調整等の理解促進のため、市民や関係機関への一層の啓発に取り組む。

【看取り支援に関する専門部会】

<これまでの取り組み>

- ・当専門部会は、これまで計 3 回開催し、看取りの現状と課題や、神戸大学医学部附属病院の木澤義之特命教授によるアドバンス・ケア・プランニング（ACP）に関する講演をお聞きしたほか、千葉県松戸市で、不必要な救急搬送を減らすことを目的に取り組まれている「ふくろうプロジェクト」の紹介を行った。
- ・また、神戸市における看取りの現状の説明や、施設看取りに関する実態把握のため

の特別養護老人ホームなどを対象とするアンケート（案）を提示し、ご意見をいただいた。現在、アンケート内容の検討を行っているところである。

<今後の方向性>

- ・施設看取りの実態調査を行い、施設看取りを推進するための施策を検討する。
- ・人生の最終段階における医療・介護に関する意思決定を支援するため、ACPを普及するための方策を検討する。
- ・自宅や施設での看取りを含めた在宅医療に関する市民啓発の先行モデルを把握し、チラシ等の啓発物の作成及び市民啓発の方法について検討する。

神戸圏域地域医療構想調整会議
地域包括ケア推進部会 委員名簿

北 徹	神戸市医療監 (※)
村岡 章弘	神戸市医師会副会長
是則 清一	神戸市医師会理事
池端 幸成	神戸市歯科医師会常務理事
日比 高志	神戸市薬剤師会副会長
前田 雅道	神戸市民間病院協会理事
古瀬 繁	神戸市民間病院協会監事
宮軒 將	兵庫県精神科病院協会理事
立部 巴	兵庫県看護協会神戸東部支部地区理事
松井 年孝	神戸市老人福祉施設連盟理事長
有本 雅子	神戸市介護老人保健施設協会会長
中根 義信	神戸市シルバーサービス事業者連絡会会長
山内 賢治	兵庫県社会福祉士会地域包括支援センター支援委員会委員長
伊賀 浩樹	神戸市ケアマネジャー連絡会代表理事
岩井 信彦	兵庫県リハ3士会地域支援推進協議会代表
澤村 誠志	兵庫県立総合リハビリテーションセンター名誉院長
前田 潔	神戸市認知症対策監
(※) は会長	

(敬称略 順不同)

健康寿命延伸のための「介護予防」専門部会

委員名簿

座長	近藤 克則	千葉大学 予防医学センター教授
	辰巳 恵章	神戸市医師会
	豊後 孝敏	神戸市歯科医師会 理事
	安田 理恵子	神戸市薬剤師会 常務理事
	松本 多津子	兵庫県看護協会
	鶴本 和香	神戸市ケアマネジャー連絡会 (あんしんすこやかセンター)
	榊 由美子	兵庫県栄養士会 会長
	上原 弘美	兵庫県歯科衛生士会 会長
	山本 克己	神戸市リハ職種地域支援協議会 代表幹事
アドバイザー	飯島 勝矢	東京大学 高齢社会総合研究機構 教授

神戸圏域地域医療構想調整会議
地域包括ケア推進部会 医療介護連携に関する専門部会 委員名簿

座 長	北 徹	神戸市医療監
	是 則 清 一	神戸市医師会理事
	本 庄 健 一	神戸市歯科医師会理事
	宮 内 智 也	神戸市薬剤師会理事
	吉 田 寛	神戸市民間病院協会副会長
	福 田 陽 子	兵庫県看護協会
	藤 田 愛	兵庫県訪問看護ステーション連絡協議会
	庄 村 欣 也	神戸市ケアマネジャー連絡会常任理事
	藤 本 麻理子	兵庫県介護福祉士会神戸ブロック理事
	中 野 悦 子	神戸在宅医療・介護推進財団
アドバイザー	飯 島 勝 矢	東京大学高齢社会総合研究機構教授

(敬称略 順不同)

地域包括ケア推進部会 在宅療養者の服薬管理に関する専門部会 委員名簿

(敬称略 順不同)

座長

はしだ とおる
橋田 亨 神戸市立医療センター中央市民病院 院長補佐・薬剤部長

おくち ひろし
奥知 博志 神戸市医師会

とり よしお
登利 佳央 神戸市歯科医師会 高齢者福祉委員会 副委員長

こづか ひとみ
小塚 ひとみ 神戸市薬剤師会 常務理事

やまもと さとし
山本 智史 神戸市薬剤師会

こせ しげる
古瀬 繁 神戸市民間病院協会

かねなか ひろえ
金中 宏江 兵庫県看護協会 神戸東部支部窓口担当者委員

かとう みなこ
加藤 美奈子 兵庫県訪問看護ステーション連絡協議会

やまだ えみこ
山田 恵美子 神戸市ケアマネジャー連絡会 常任理事

はやし ようこ
林 洋子 兵庫県介護福祉士会 運営協力委員

だん まなみ
段 真奈美 兵庫県社会福祉士会 地域包括支援委員会委員

アドバイザー

さとう たけゆき
佐藤 岳幸 神戸医療産業都市推進機構クラスター推進センター長

かつらぎ さとこ
桂木 聡子 兵庫医療大学薬学部医療薬学科准教授

神戸圏域地域医療構想調整会議
地域包括ケア推進部会 看取り支援に関する専門部会 委員名簿

座 長	中 村 治 正	神戸市医師会
	松 岡 泰 夫	神戸市医師会
	橋 本 猛 央	神戸市歯科医師会高齢福祉委員会委員長
	高 見 良 子	神戸市薬剤師会理事
	前 田 雅 道	神戸市民間病院協会理事
	大 路 貴 子	兵庫県看護協会
	松 本 京 子	兵庫県訪問看護ステーション連絡協議会
	河 井 眞知子	神戸市ケアマネジャー連絡会副代表理事
	浅 倉 祥 介	神戸市老人福祉施設連盟
	堤 裕紀恵	神戸市介護老人保健施設協会

(敬称略 順不同)